

# その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.054

## 田中 康夫

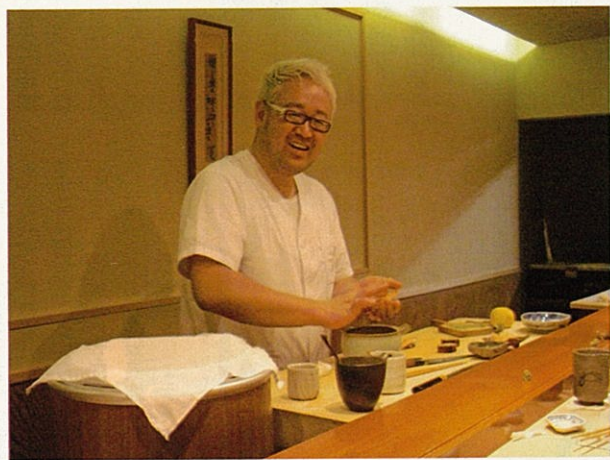


たなかやすお ● 56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。  
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。  
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。【公式ブ  
ログ】 www.nippon-dream.com/



## アジアからの来訪者を残虐に殺した事件に、 橋下徹氏が「黙して語らず」は残念無念

### 今週の逸品



### 寿し芳・中ノ上公起の握り

大阪にも最近訪れるに値する江戸前を握る館店が増えている。尤も価額や態度のみ「立派」な迷店も少なくない中、寿し芳は真っ当な逸軒。梅田から京阪国道を南森町交差点で左折。2つ目の信号で下車。一方通

行路に入って左手2軒目。基本は御任せ。何れも逸品な握みを愉しみ、握りへと進む。1人概ね1万円強。予約時に希望を述べた上で確認すると良い。麦酒、冷酒等に加えて少品種ながらシャンパーニュ、ワインも。

【寿し芳】大阪市北区南森町2-3-23 ☎06-6361-0062  
営業12:00~13:30、17:30~22:30 日曜定休

illustration by Hajime Anzai



「真っ当」を用いたのは、廃刊となった「Weeklyぴあ」で90年代半ばに連載した「いまだき真っ当な料理店」と「それでも真っ当な料理店」でした。星霜を経て、いまこそ「真っ当」とは何か、が社会全体で問われています。  
noblesse oblige 無きowardな政治家や、あてな企業家が厚顔無恥に跳梁跋扈。その閉塞感の中で増幅するarrogantとintoleranceな感情。以下の悲劇は今後、急増する。一面識も無かったネパール人の料理店経営者を、通りすがりの日

本人4人組が因縁を付け、無抵抗にも拘らず殴り蹴り、殺害に及んだ1月16日未明の大阪市阿倍野区での事件を受けて僕は、上記ツイートをしました。  
駐車場の防犯カメラは、約1分半の間に約40回、頭を蹴り跳び上がって体を踏み付け、上半身目掛けて自転車を3回叩き付ける場面を捉え、関西では大きく報じられた許し難き悲劇です。  
アジアからの来訪者を増やし、西成区を再生させ、子供が笑う「One Osaka」を目指す大阪市長・

橋下徹氏の、この件に関する毅然たる発言を、関西人は期待してました。光市「母子殺害事件」死刑囚と同様、「改悛の情」が窺えぬ20代の男女4人組は、「暴行は認めると殺意は否認」し続け、殺人罪で起訴されたのですから。  
事件後、大阪本紙新聞各紙に注視するも、彼の発言は見当たりませんでした。頻りにアップされるツイッターにも大阪市のホームページの会見録にも、「無抵抗にも拘らず殺害した大阪男女4人組に關し、One Osakaを目指す橋下

徹氏が黙して語らずは残念無念」と2月8日にツイートしました。「公務員」の悪行が全国に喧伝される大阪は、元来は人情味と正義感の街です。而して府県境の左門殿川の両岸、僕が居住する尼崎市の築地地区と西淀川区の佃地区こそは、「江戸の原点」なのです。徳川家康が上洛の際に渡船を出し、白魚を献上したのが由縁で、築城の後に往時の大坂から江戸へと漁民が移り住んだのですから。改称後の大阪は、長きに亘って上方館でした。江戸前が「凱旋」するのは近時。その中でも、梅田からタクシードワンメーター圏内、南森町で中ノ上公起氏が営む「寿し芳」は白眉。天神橋筋から折れた一方通行路に佇みます。  
引き戸を開け、席に座り、付け台を隔てて中ノ上氏と対面したなら、些かならず度肝を抜かれるでしょう。取立て白髪に染め、市松模様<sup>いちまつもよう</sup>の眼鏡を掛けた主だからです。が、誤解無き様。温かき心根の彼が握る鮓は、極めて真っ当だと僕が保証します。  
「実体」を伴った料理と時空を味わえるのが「真っ当な料理店」の条件。而して、作り手や供し手の表層でなく、その深層を洞察し得てこそ、「真っ当な食べ手」。大阪出張の際、懐具合に多少の余裕があったなら、迷わず訪れるべき。以前に紹介の西麻布の「すし匠ま」と並び、推奨の館店です。